

第 3 期明石市子ども・子育て支援事業計画策定にかかるニーズ調査結果

(1) 調査の目的

市内に在住する就学前児童及び小学 1 年生から 4 年生の保護者に対してアンケートを行うことにより、保育・教育のサービス内容や量、子ども・子育てに対する現状や今後の意向等を把握し、「第 3 期子ども・子育て支援事業計画」を策定するうえでの基礎資料とします。

(2) 調査対象

- ① 就学前児童の保護者
- ② 小学 1 年生から 4 年生（明石養護学校を含む）、特別支援学級の各 1 クラスの保護者

(3) 調査期間

- ① 就学前児童調査 : 令和 6 年(2024 年)2 月 15 日～3 月 8 日
- ② 小学 1 年生から 4 年生調査 : 令和 6 年(2024 年)2 月 14 日～3 月 8 日

(4) 調査方法

- ① 就学前児童調査 : 郵送による配付
 - ② 小学 1 年生から 4 年生等調査 : 学校を通じて配付
- *①、②共に二次元コードを直接読み取り、回答を実施。回収作業はなし。

(5) 回収結果

	配付数	有効回答数	有効回答率
就学前児童	3,360 人	1,554 人	46.3%
小学 1 年生から 4 年生	3,414 人	1,166 人	34.2%

(6) 調査結果の表示方法

- ・グラフに表示されている N 値は有効回答数です。
- ・回答は各質問の N 値を基数とした百分率 (%) で表示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。

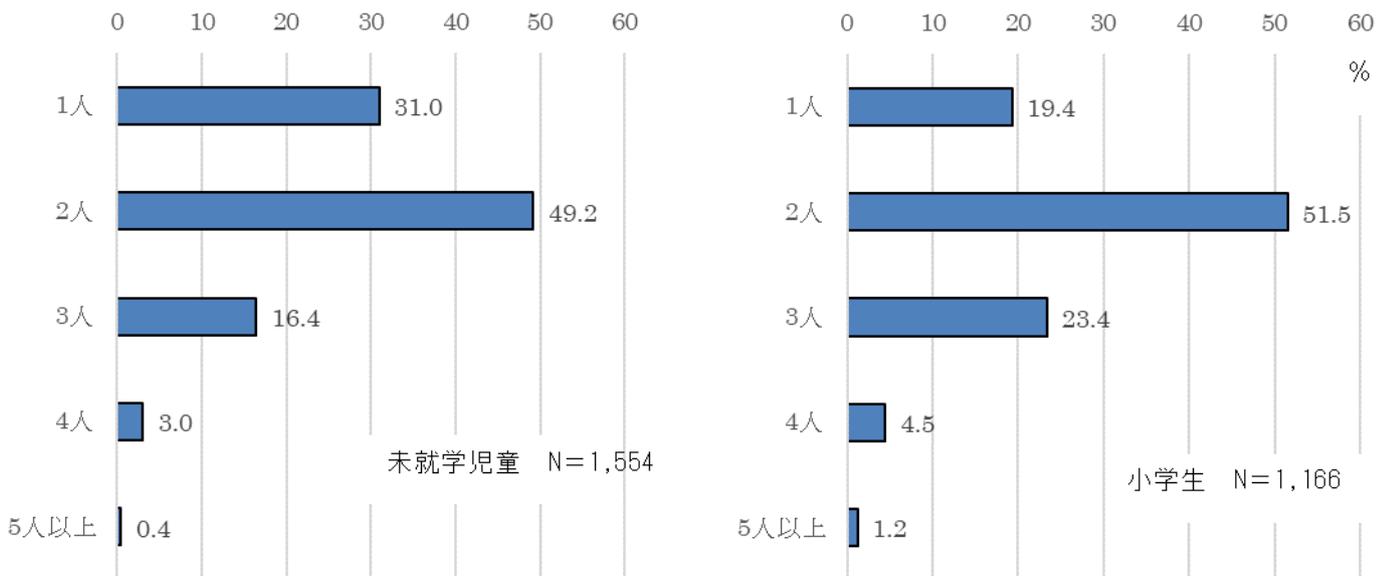
(7) 調査結果

① 回答世帯における子どもの人数（単数回答）

就学前児童では「2人」が49.2%と最も高く、次いで「1人」が31.0%、「3人」が16.4%となっています。一方、小学生では「2人」が51.5%と最も高く、次いで「3人」が23.4%、「1人」が19.4%となっています。

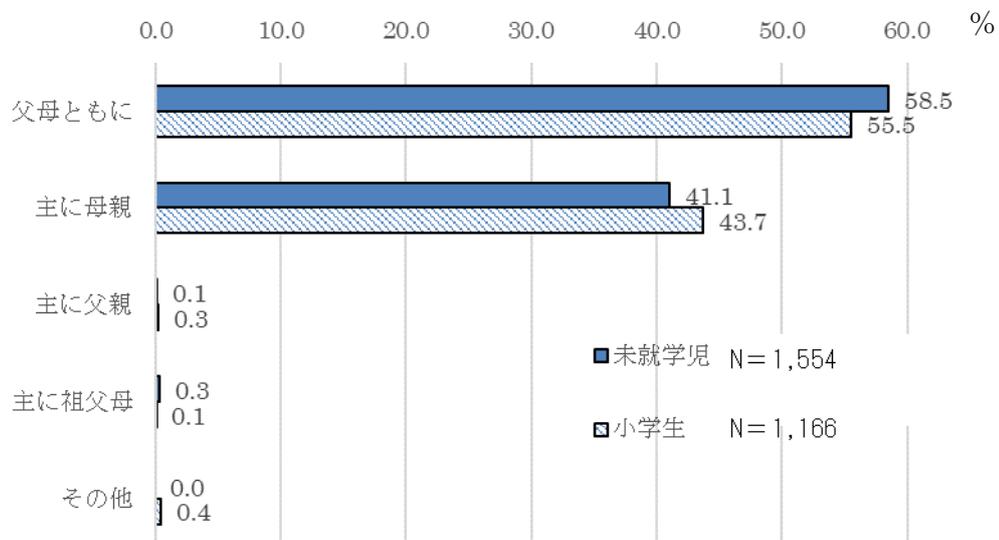
【就学前児童】

【小学生】



② 子育てを主に行っている方（単数回答）

「父母ともに」が就学前児童で58.5%、小学生で55.5%と最も高く、次いで「主に母親」が就学前児童で41.1%、小学生で43.7%となっています。

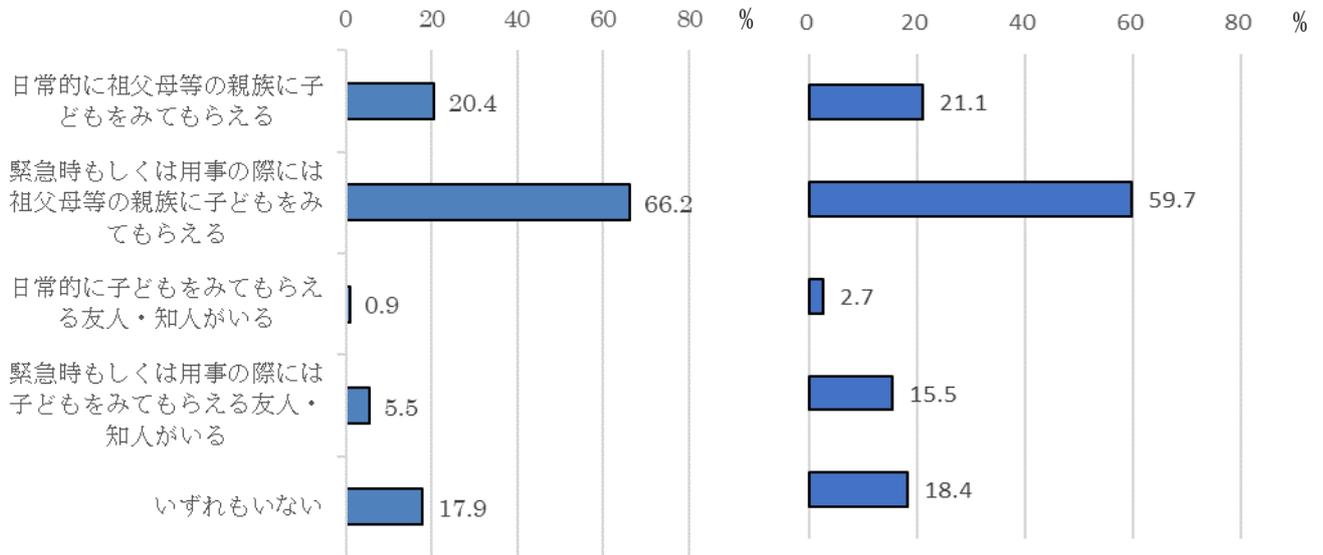


③ 日ごろ、子どもをみてもらえる親族・知人の有無（複数回答）

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に子どもをみてもらえる」が就学前児童で66.2%、小学生では59.7%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族に子どもをみてもらえる」が就学前児童で20.4%、小学生で21.1%となっています。

【就学前児童】

【小学生】



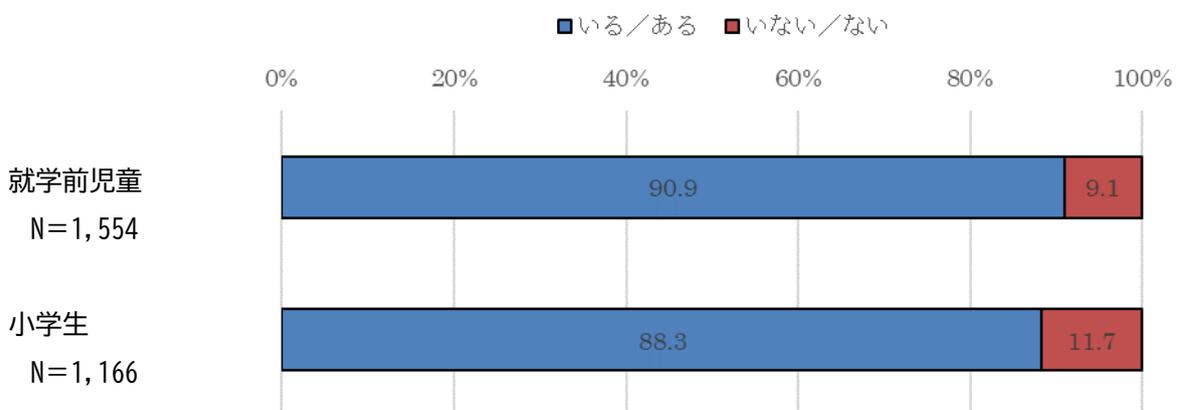
就学前児童 N=1,554

小学生 N=1,166

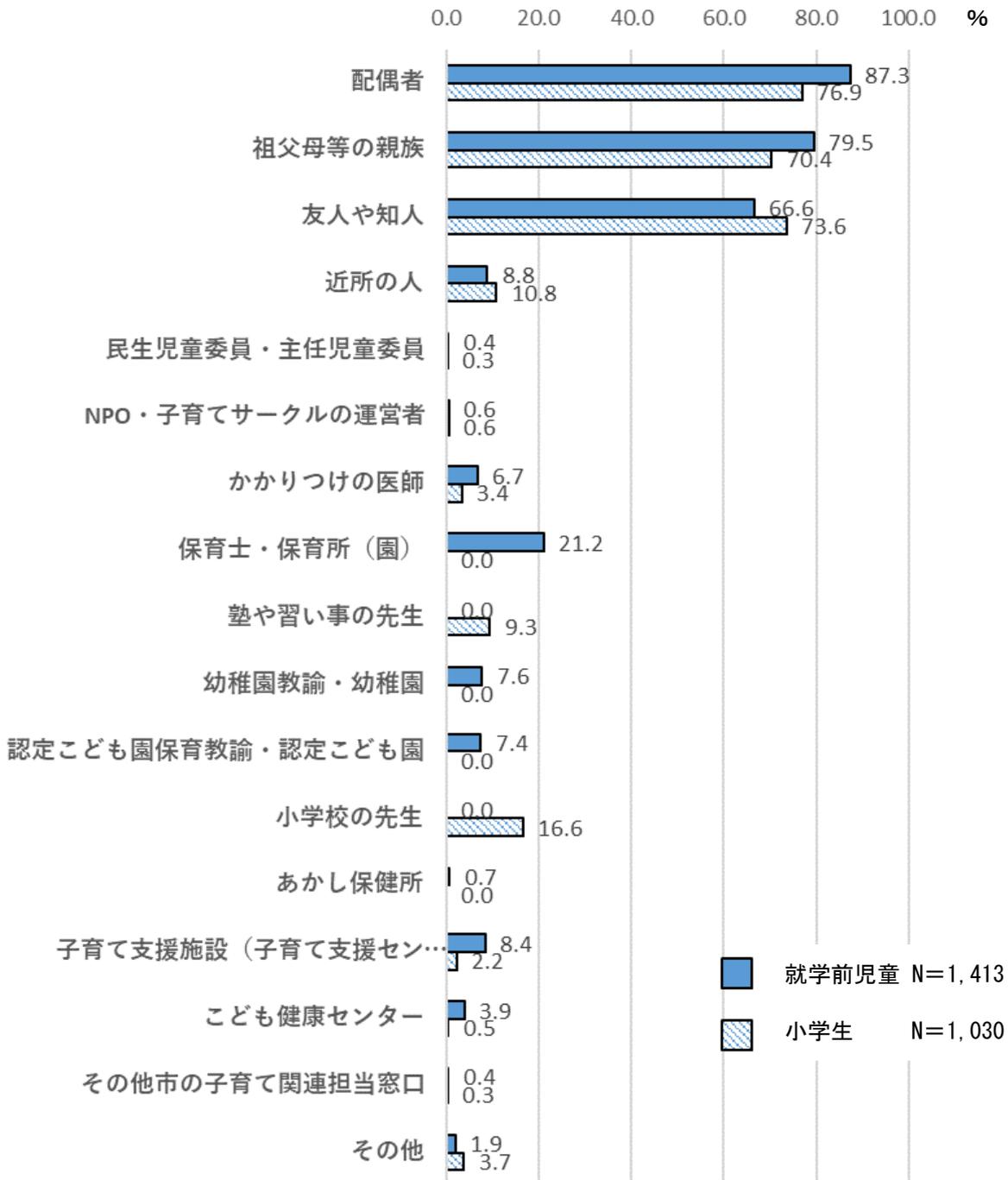
④ 子育てをするうえでの相談相手や相談できる場所の有無（単数回答）

「いる/ある」が、就学前児童で90.9%、小学生では88.3%となっています。

相談相手（場所）をみると、就学前児童は「配偶者」が87.3%、小学生は「配偶者」が76.9%と最も高くなっています。



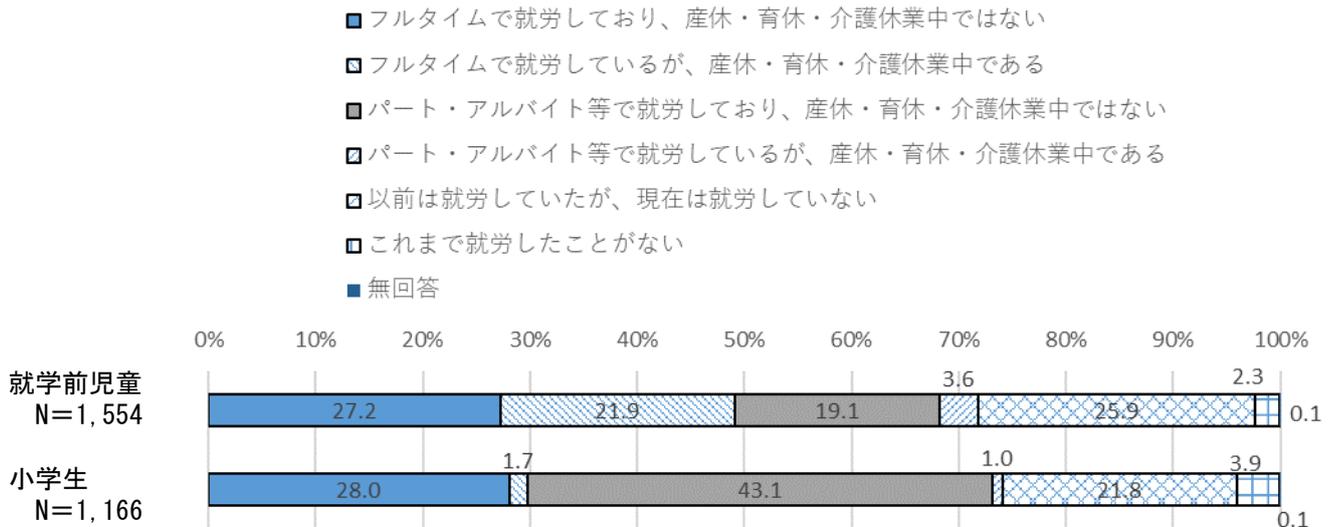
【子育てをするうえでの相談相手】〈複数回答〉



⑤ 母親の就労状況（単数回答）

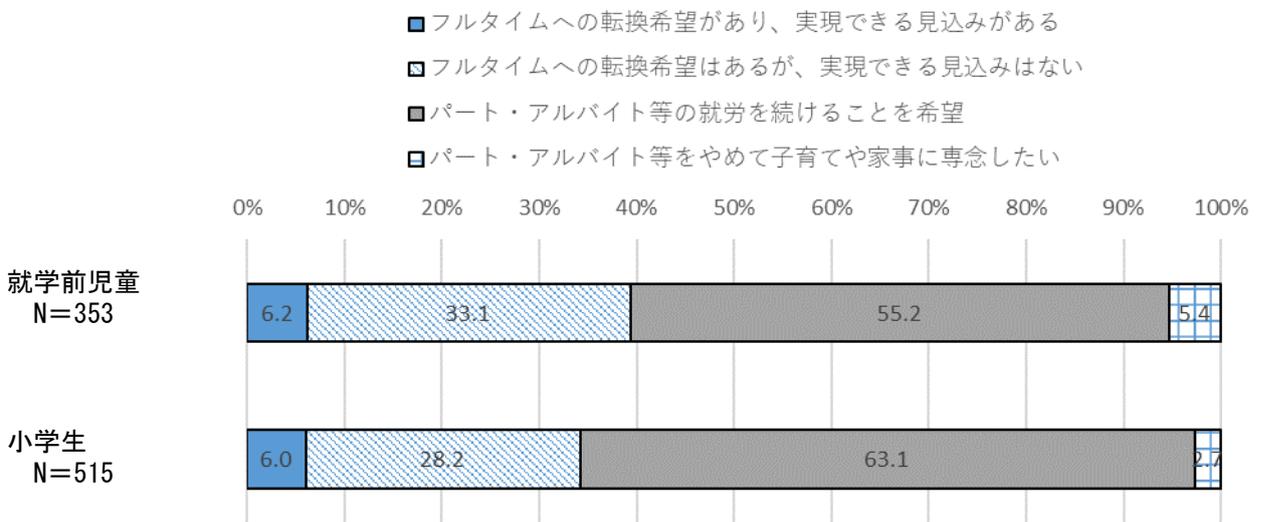
就学前児童の母親では、フルタイム、パート、休業中を問わず「就労している」割合は、71.8%で、未就労の割合は28.2%となっています。5年前の調査で「就労」対「未就労」は55.0%対43.1%であったことから、5年間で「就労している」割合が大幅に増加しております。

小学生の母親も、「就労している」割合が73.8%で、5年前より9.1ポイント増加しています。



⑥ パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望（単数回答）

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が就学前児童の母親で55.2%、小学生の母親で63.1%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が就学前児童の母親で33.1%、小学生の母親で28.2%となっています。就学前児童の母親で「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」は6.2%で、5年前より3.5ポイント減少しました。

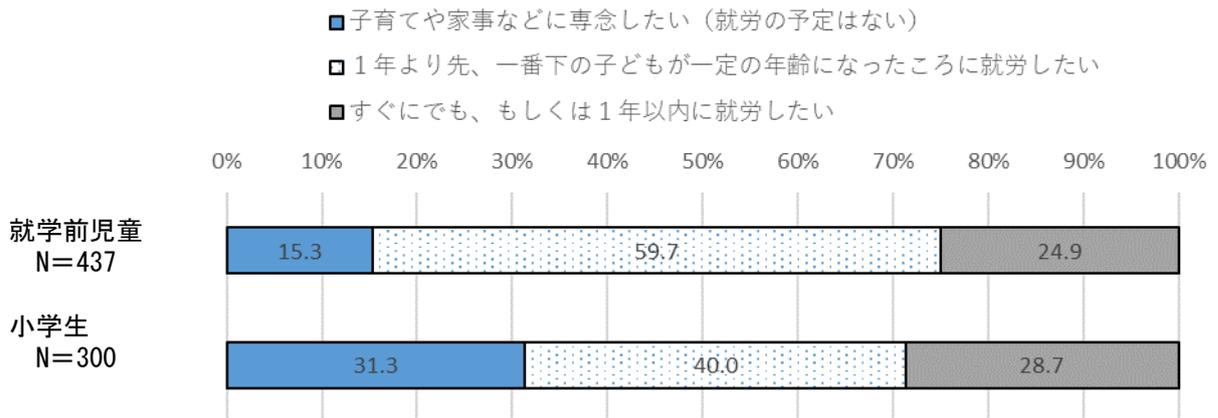


⑦ 現在就労していない母親の就労希望（単数回答）

「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢になったところに就労したい」は、小学生の母親に比べ就学前児童の母親で割合が高く、「すぐにでも、もしくは一年以内に就労したい」では、就学前児童の母親に比べ小学生の母親で割合が高くなっています。

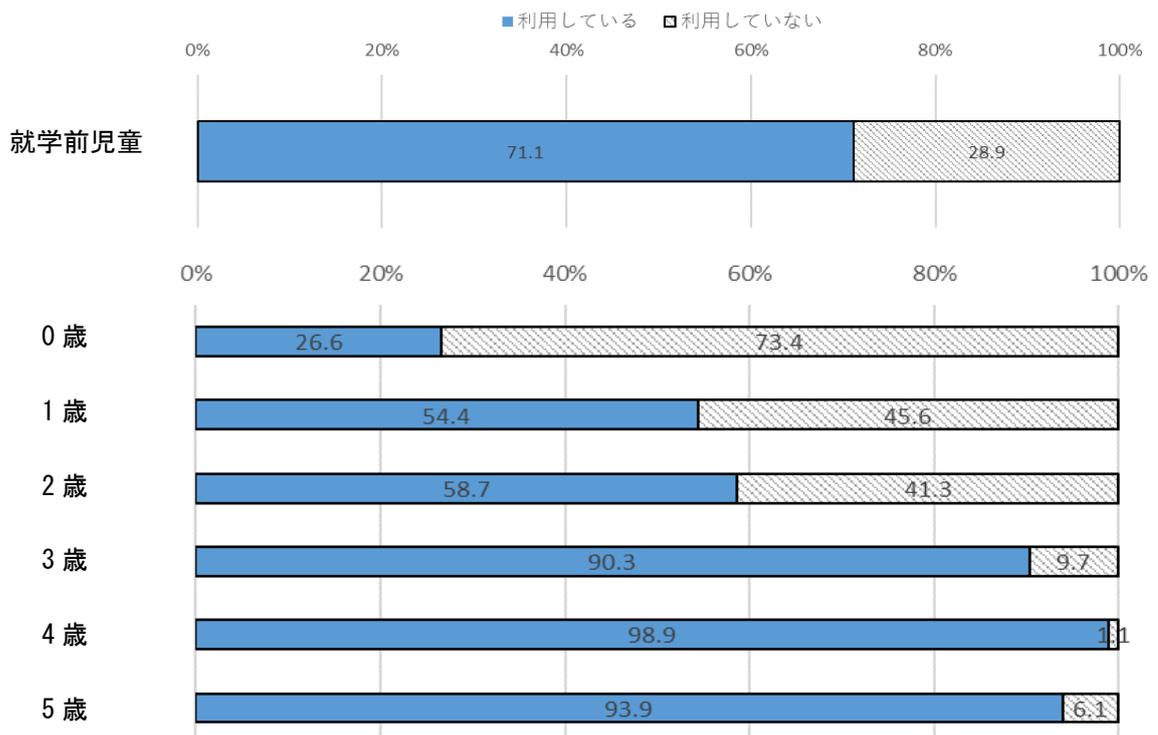
また、これらの希望のある方は、就労に対する潜在的なニーズがある保護者であることがうかがえます。

なお、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合は5年前と比べ、就学前児童の母親で6.9ポイント減少し、小学生の母親で5.1ポイント増加しています。



⑧ 平日の定期的な教育・保育事業の利用の有無（実績）

就学前児童の定期的な教育・保育事業の利用は全体では71.1%で、5年前より3.5ポイント増加しています。年齢別では0歳で4.6ポイント減、1歳で5.3ポイント増、2歳で1.3ポイント増、3歳で21.8ポイント増となっています。



「利用している」と答えた母親を就労状況別でみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」で70%以上の方が認可保育所（園）もしくは認定こども園（保育利用）を利用し、「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」で60%以上の方が幼稚園を利用しています。

利用施設別でみると、認定こども園（保育利用）利用率が5年前と比べて大幅に増加しています。これは認可保育所（園）が認定こども園（教育・保育利用）へ移行した影響と考えられます。

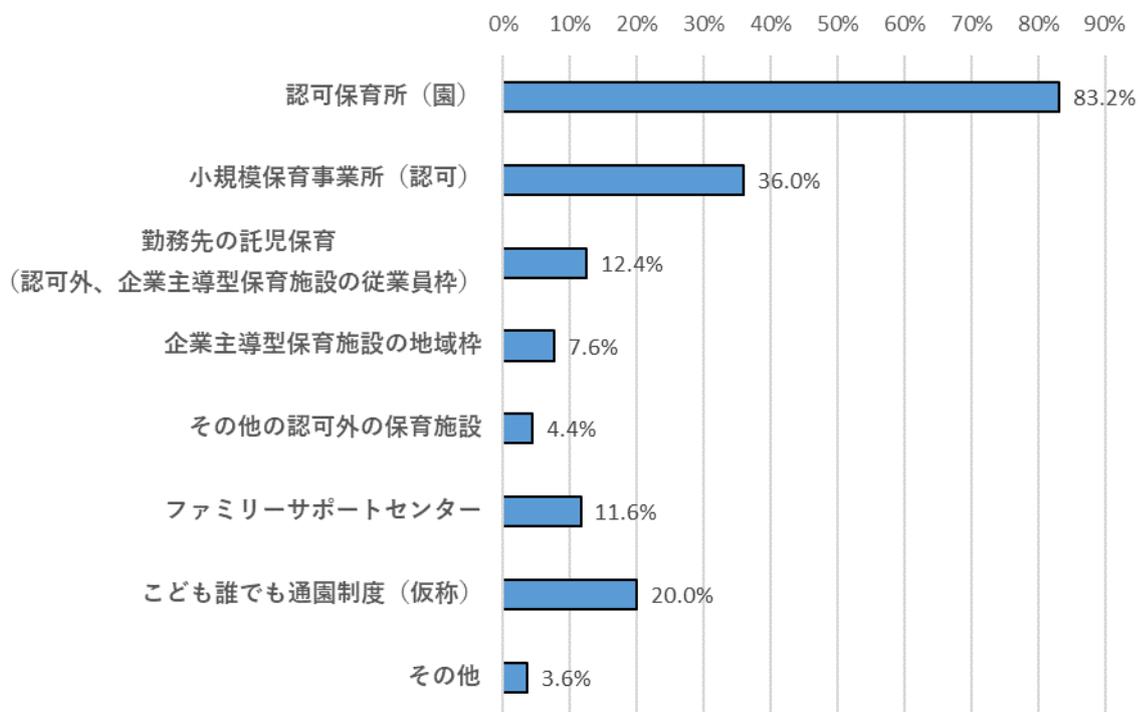
(単位：%)

	有効回答数（件）	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所（園）	認定こども園（保育利用）	認定こども園（教育利用）	認定こども園預かり保育	小規模保育事業所（認可）※5	※6 （認可外、企業主導型保育施設の従業員枠）	勤務先の託児保育	企業主導型保育施設の地域枠※6	その他の認可外保育施設	ファミリーサポートセンター	その他
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	404	2.7%	2.5%	42.1%	40.8%	1.5%	1.0%	5.9%	3.2%		1.7%	3.0%	-	0.5%
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	105	5.7%	2.9%	39.0%	41.9%	3.8%	2.9%	4.8%	1.9%		2.9%	1.0%	1.0%	-
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	268	11.2%	7.8%	35.4%	35.1%	3.7%	3.4%	3.4%	5.2%		2.6%	3.0%	0.4%	1.1%
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	28	3.6%	3.6%	42.9%	46.4%	-	-	-	-		7.1%	-	-	-
以前は就労していたが、現在は就労していない	127	68.5%	3.1%	4.7%	6.3%	10.2%	2.4%	2.4%	-		0.8%	0.8%	-	6.3%
これまで就労したことがない	14	85.7%	-	-	7.1%	7.1%	-	-	-		-	-	-	-
無回答	1	-	-	0.0%	-	-	-	-	-		-	-	-	-

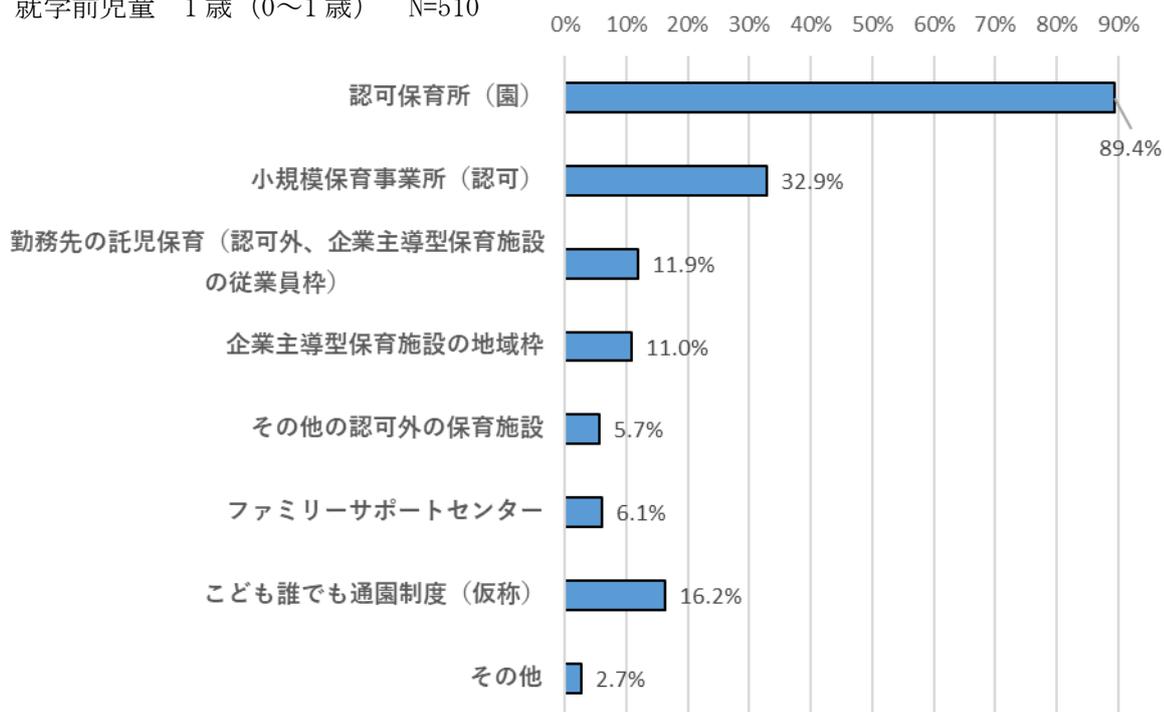
⑨ 今後、平日の教育・保育事業として定期的にご利用したいと考える事業（複数回答）

いずれの年齢においても、認可保育所（園）の利用希望が最も多くなっており、次いで小規模保育事業所（認可）や認定こども園（保育利用）となっていることから保育事業のニーズが非常に高い事がうかがえます。

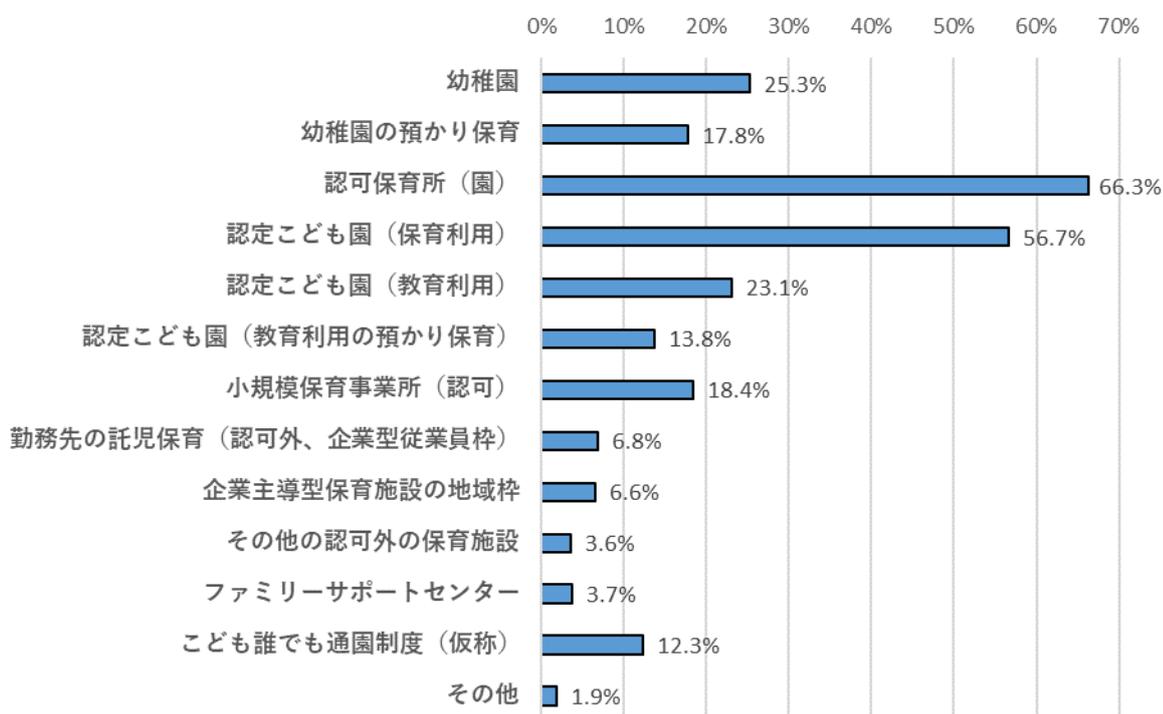
就学前児童 0歳（0歳） N=250



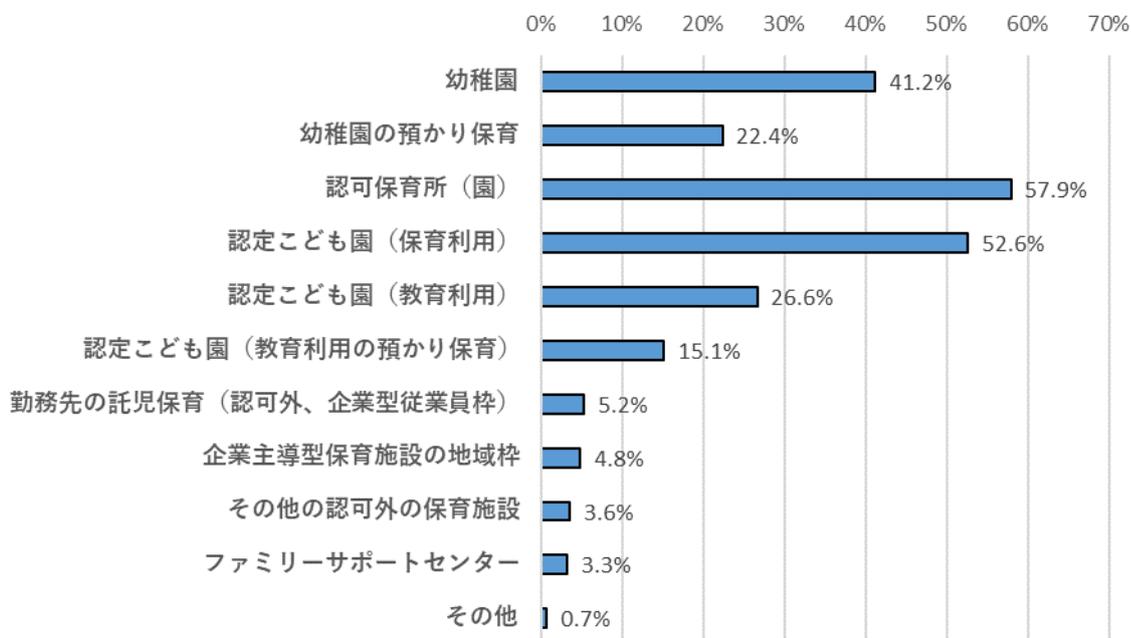
就学前児童 1歳（0～1歳） N=510



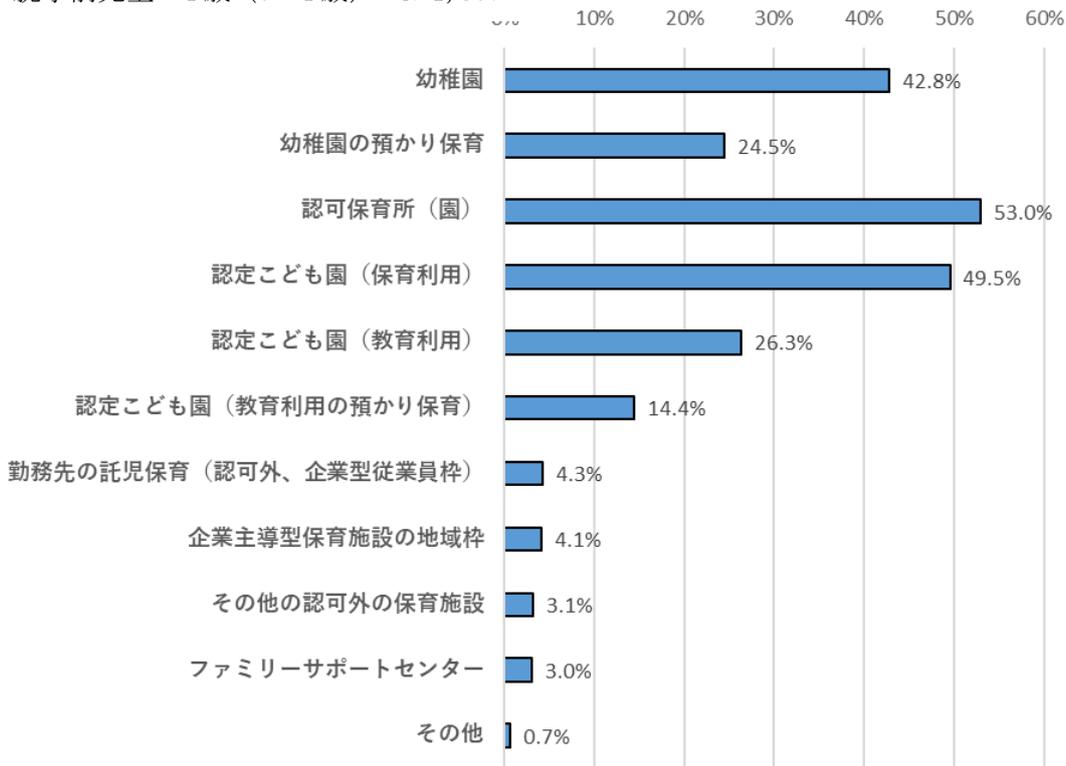
就学前児童 2歳（0～2歳） N=748



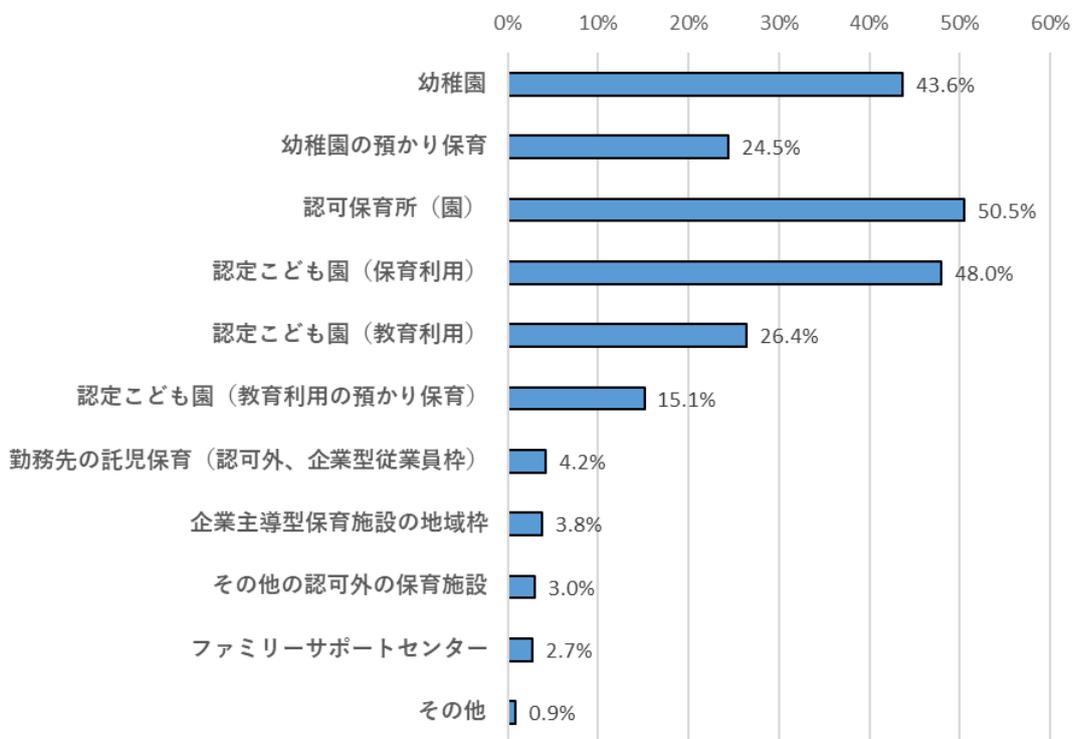
就学前児童 3歳（0～3歳） N=1,032



就学前児童 4歳（0～4歳） N=1,307



就学前児童 5歳（0～5歳） N=1,554

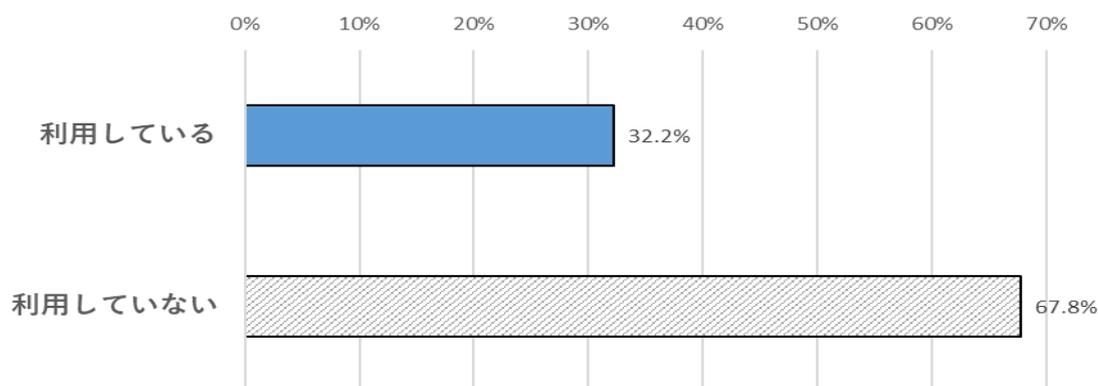


⑩ 現在の子育て支援拠点事業の利用状況（複数回答）

現在市内6か所にある、「子育て支援センター」については、「利用している」が32.2%となっています。

【就学前児童】

N=1,554

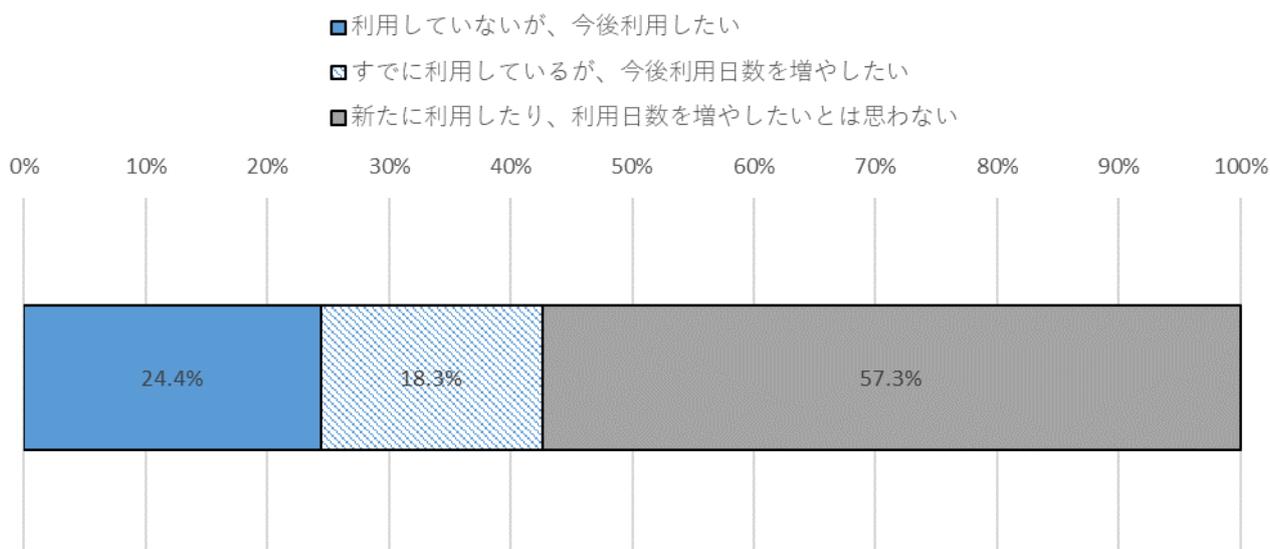


⑪ 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向（単数回答）

「利用していないが、今後利用したい」が24.4%（4.4ポイント増）、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が18.3%（0.9ポイント増）となっており、それらを合わせた、地域子育て支援拠点事業を利用したい人は全体の42.7%（5.3ポイント増）となっています。

【就学前児童】

N=1,554

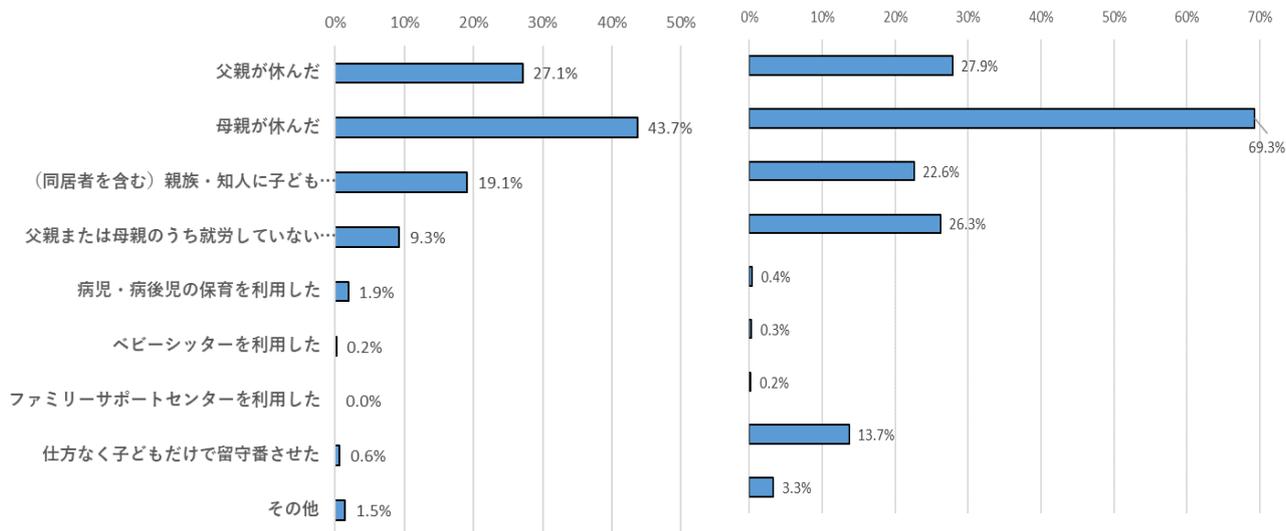


⑫ 病気等で教育・保育の事業が利用できなかった、あるいは学校を休まなければならなかった場合の対処方法（複数回答）

子どもの病気の際の対処方法については、就学前児童で「母親が休んだ」が43.7%、小学生で69.3%と最も高くなっています。

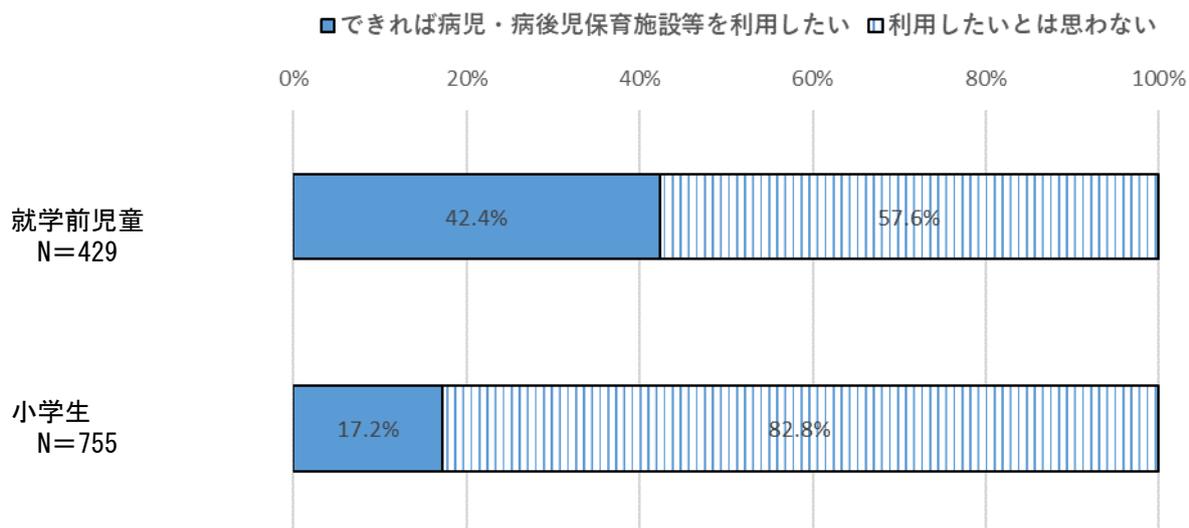
【就学前児童】 N=947

【小学生】 N=1,028



⑬ 病児等でも利用できる保育施設等の利用希望（単数回答）

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が就学前児童で42.4%（2.5ポイント増）、小学生で17.2%（0.6ポイント増）となっています。特に小学生では「利用したいとは思わない」が82.8%と「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を大きく上回っています。

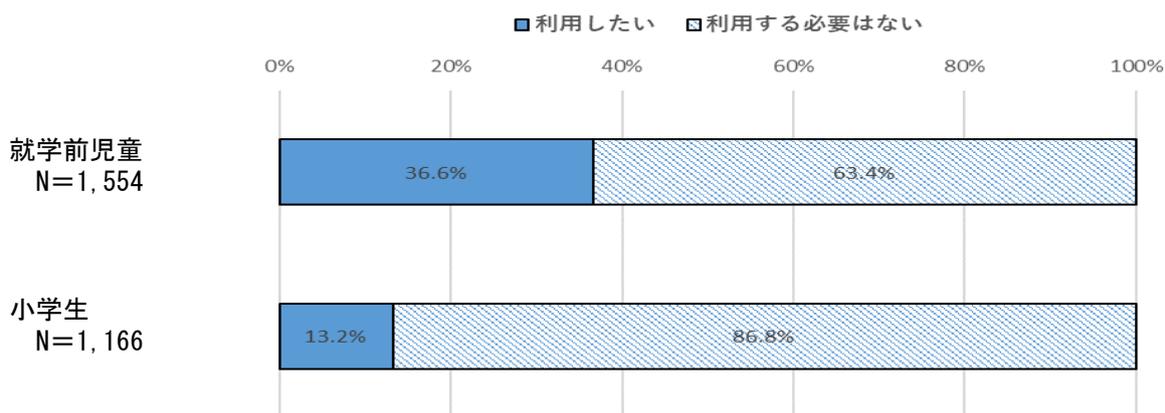


⑭ 私用、親の通院、不定期の就労目的で利用したい事業の有無（単数回答）

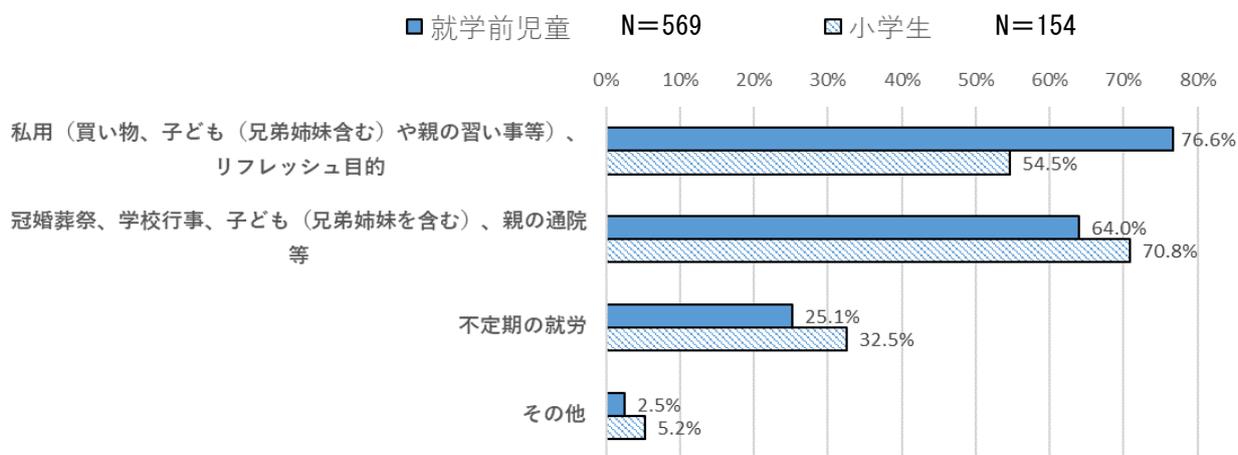
「利用したい」で就学前児童が36.6%、小学生が13.2%となっています。

特に小学生では「利用する必要はない」が86.8%と「利用したい」を大きく上回っています。

事業の利用を希望する目的については、就学前児童で「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が76.6%、小学生で「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が70.8%と最も高くなっています。

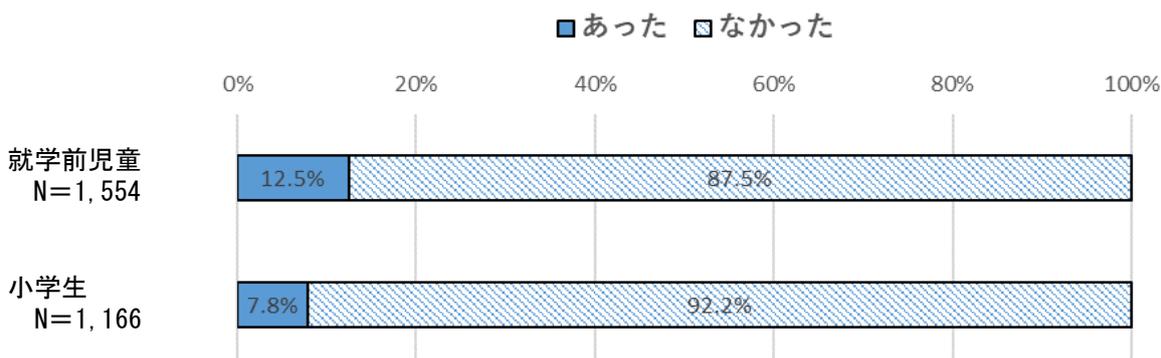


【事業の利用を希望する目的】（複数回答）



⑮ 泊りがけでみてもらわなければならなかった経験の有無（単数回答）

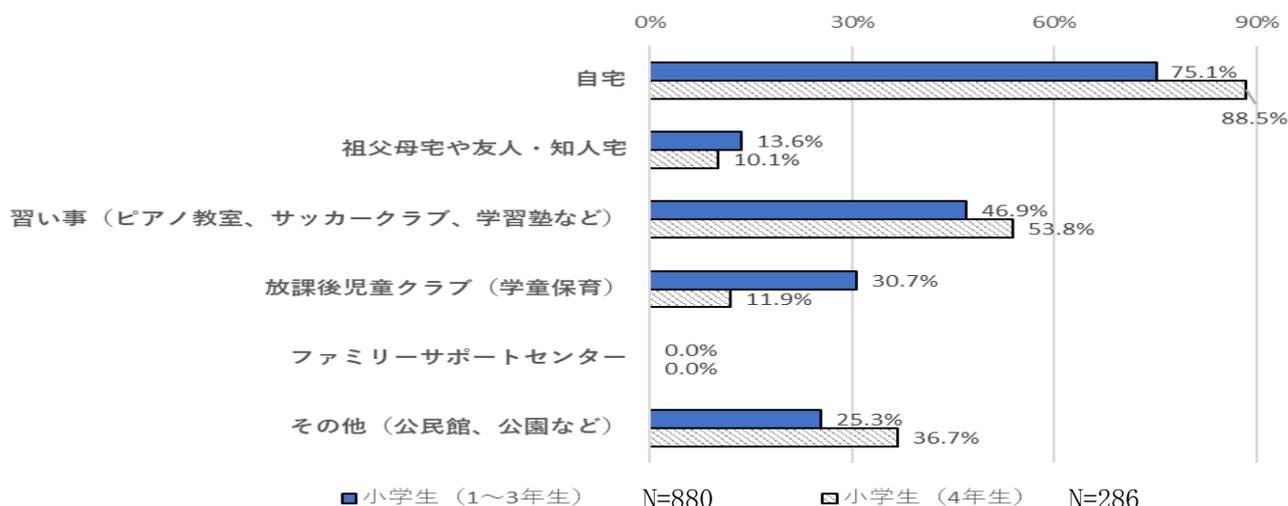
「あった」が就学前児童で12.5%、小学生で7.8%となっています。



⑩ 放課後の過ごし方（複数回答）

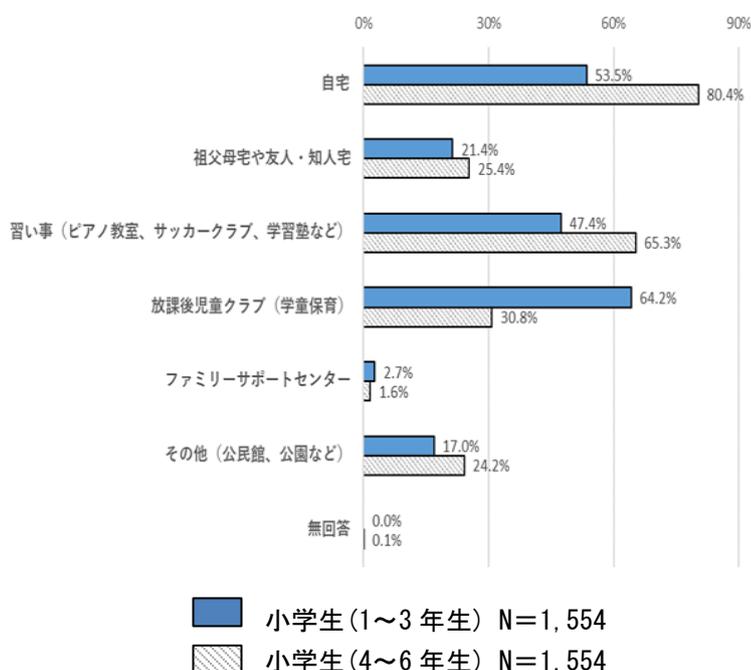
小学生が放課後に過ごしている場所については、小学生（1～3年生）、小学生（4年生）ともに「自宅」が約8割と最も高く、「習い事」が約5割と続き、放課後児童クラブは小学1～3年生で30.7%、4年生で11.9%となっています。

【小学生の現在の利用状況】

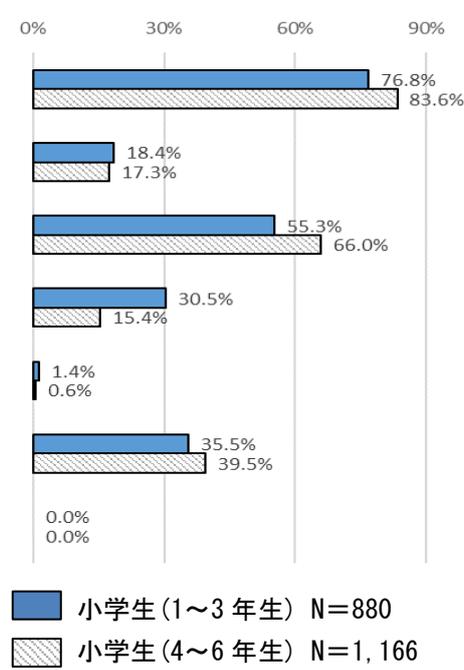


就学前児童が小学校入学後に放課後過ごさせたい場所については、低学年のうちは「放課後児童クラブ」が最も多くなっていますが、高学年になると「自宅」が最も多くなっています。「放課後児童クラブ」の利用希望は、低学年のうちは64.2%、高学年になると30.8%となっています。また、小学生に放課後過ごさせたい場所については、低学年、高学年ともに「自宅」、「習い事」の順になっています。「放課後児童クラブ」の利用希望は低学年で30.5%、高学年で15.4%となっています。

【就学前児童の将来の利用希望】



【小学生の将来の利用希望】



⑰ 放課後児童クラブに対する土曜日、日曜・祝日、長期休暇の利用希望（単数回答）

(ア) 土曜日

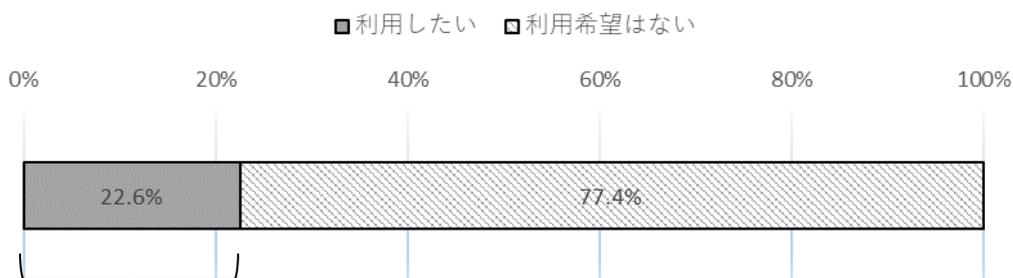
就学前児童では、小学校就学後に放課後児童クラブを利用したいと答えた人のうち、土曜日も「利用したい」の割合が22.6%となっており、そのうち「6年生ぐらいまで利用したい」の割合が35.9%となっています。

小学生では、現在放課後児童クラブを利用している又は今後利用したいと答えた人のうち、土曜日も「利用したい」の割合が21.7%となっており、そのうち「6年生ぐらいまで利用したい」の割合が40.9%となっています。

【就学前児童】

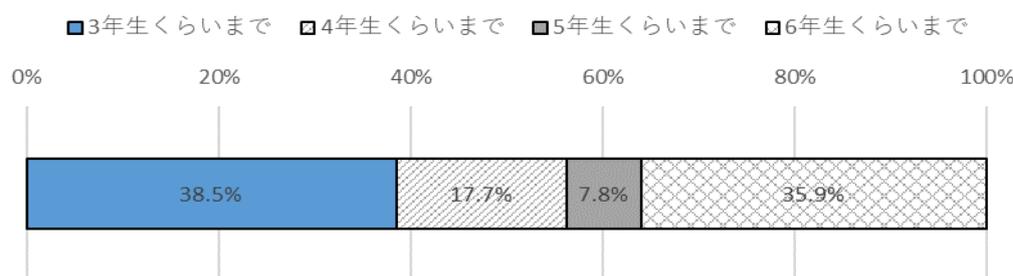
〈利用希望〉

N=1,023



〈利用したい学年〉

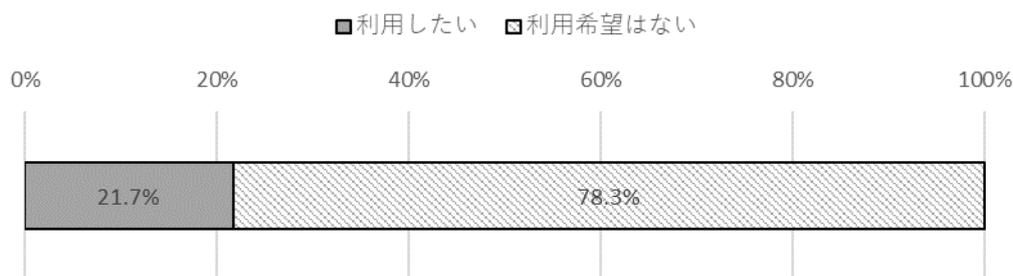
N=162



【小学生】

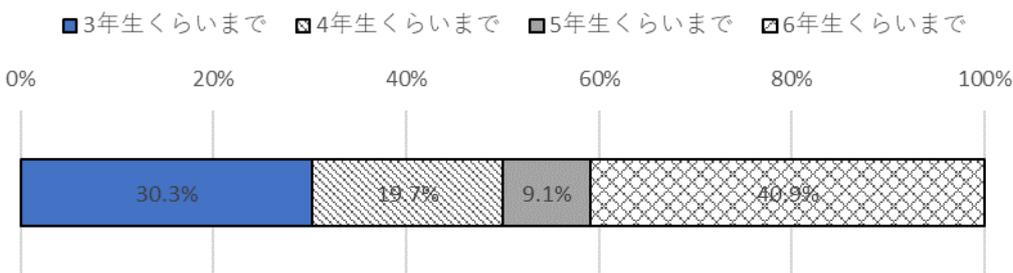
〈利用希望〉

N=304



〈利用したい学年〉

N=66



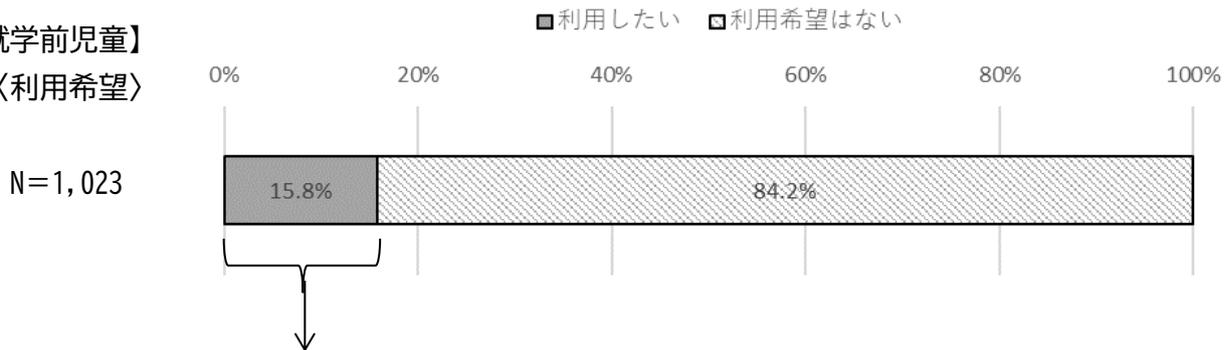
(イ) 日曜・祝日

就学前児童では、小学校就学後に放課後児童クラブを利用したいと答えた人のうち、日曜・祝日も「利用したい」の割合が15.8%となっており、そのうち「6年生ぐらいまで利用したい」の割合が35.8%となっています。

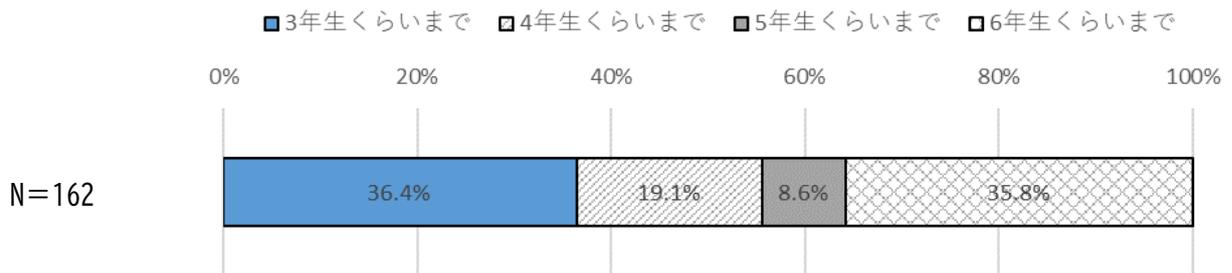
小学生では、現在放課後児童クラブを利用している又は今後利用したいと答えた人のうち、日曜・祝日も「利用したい」の割合が13.2%となっており、そのうち「6年生ぐらいまで利用したい」も割合が37.5%となっています。

【就学前児童】

〈利用希望〉

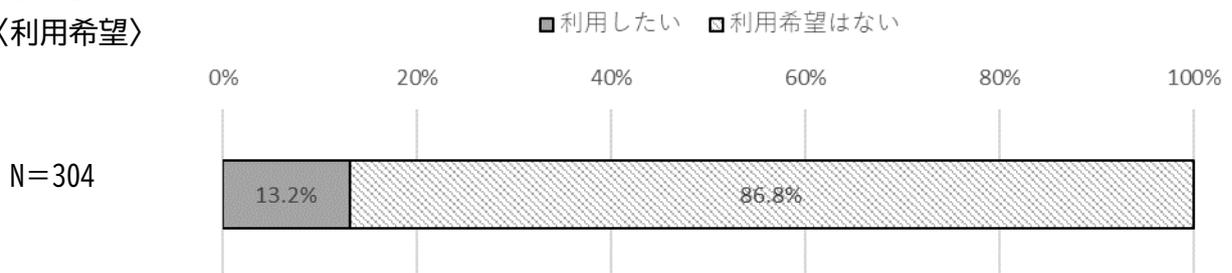


〈利用したい学年〉

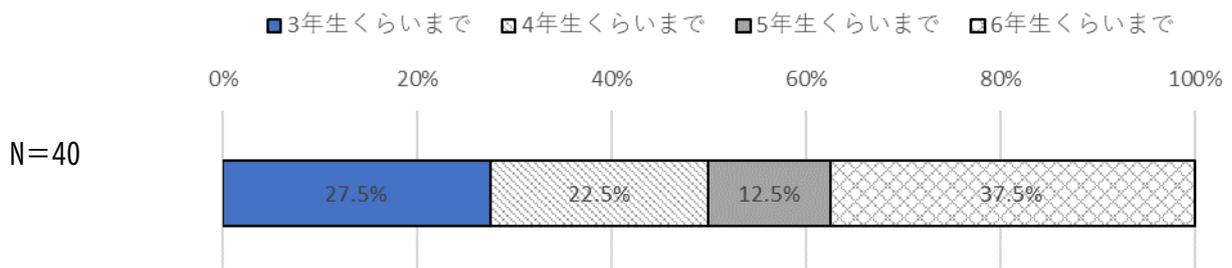


【小学生】

〈利用希望〉



〈利用したい学年〉



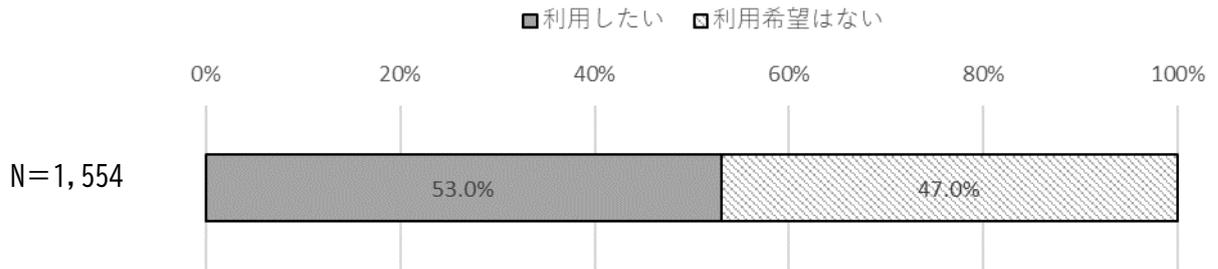
(ウ) 長期休暇

就学前児童では、長期休暇中に放課後児童クラブを「利用したい」の割合が53.0%となっており、そのうち「6年生ぐらいまで利用したい」の割合が33.4%となっています。

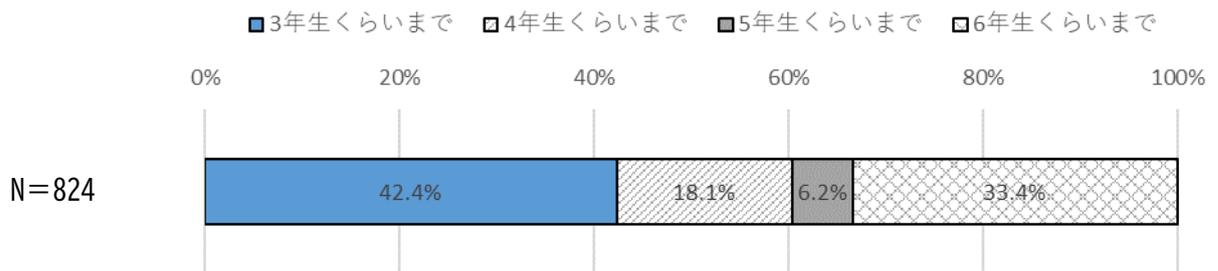
小学生では、長期休暇中に放課後児童クラブを「利用したい」の割合が24.4%となっており、そのうち「6年生ぐらいまで利用したい」の割合が42.3%となっています。

【就学前児童】

〈利用希望〉

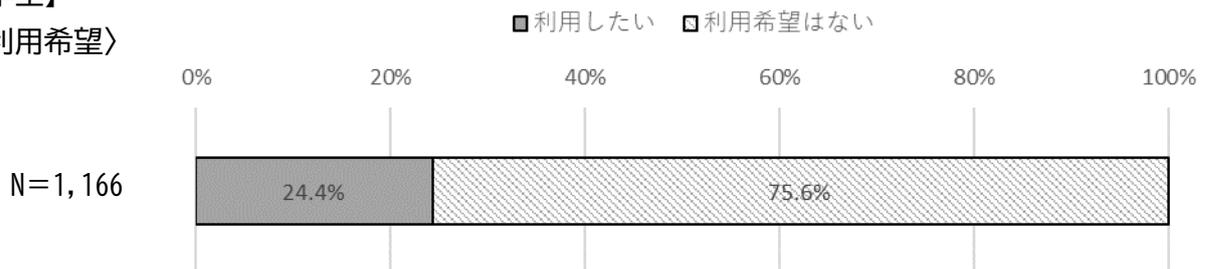


〈利用したい学年〉

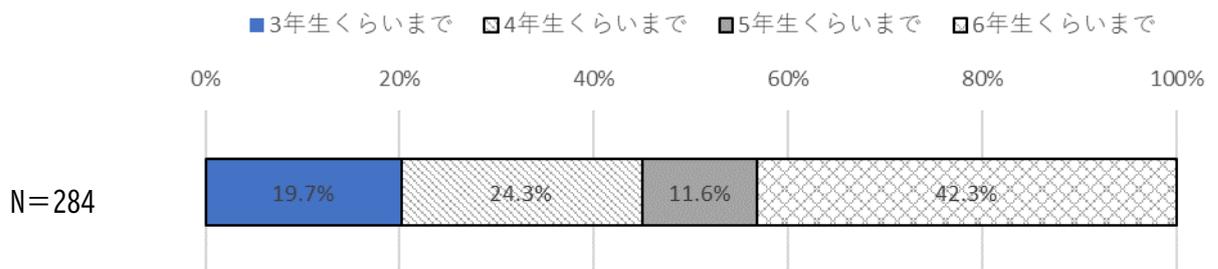


【小学生】

〈利用希望〉

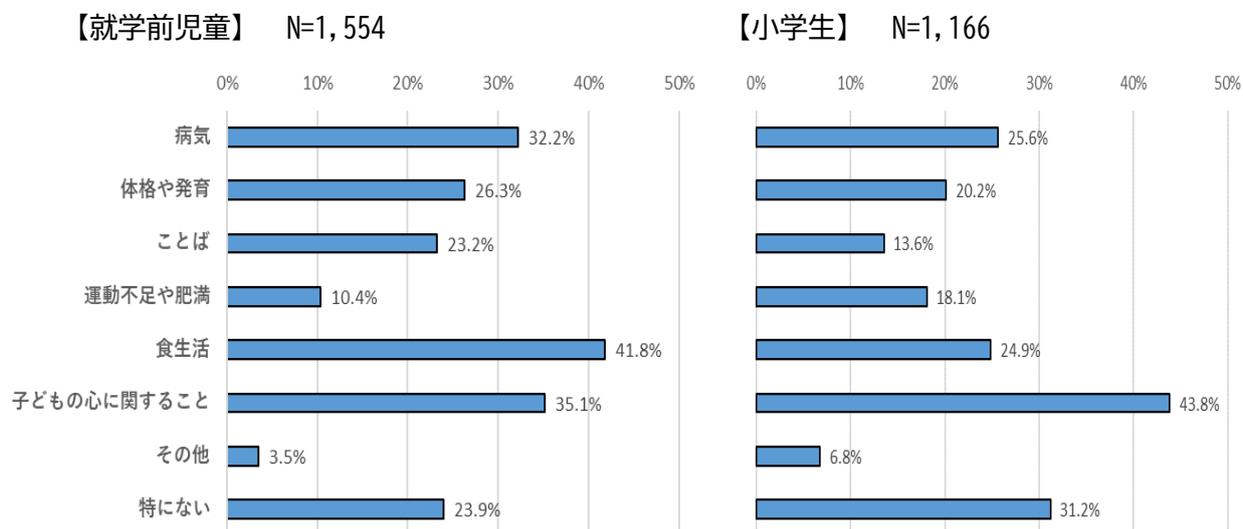


〈利用したい学年〉



⑱ 子育てについて、病気等で日常悩んでいることや気になること（複数回答）

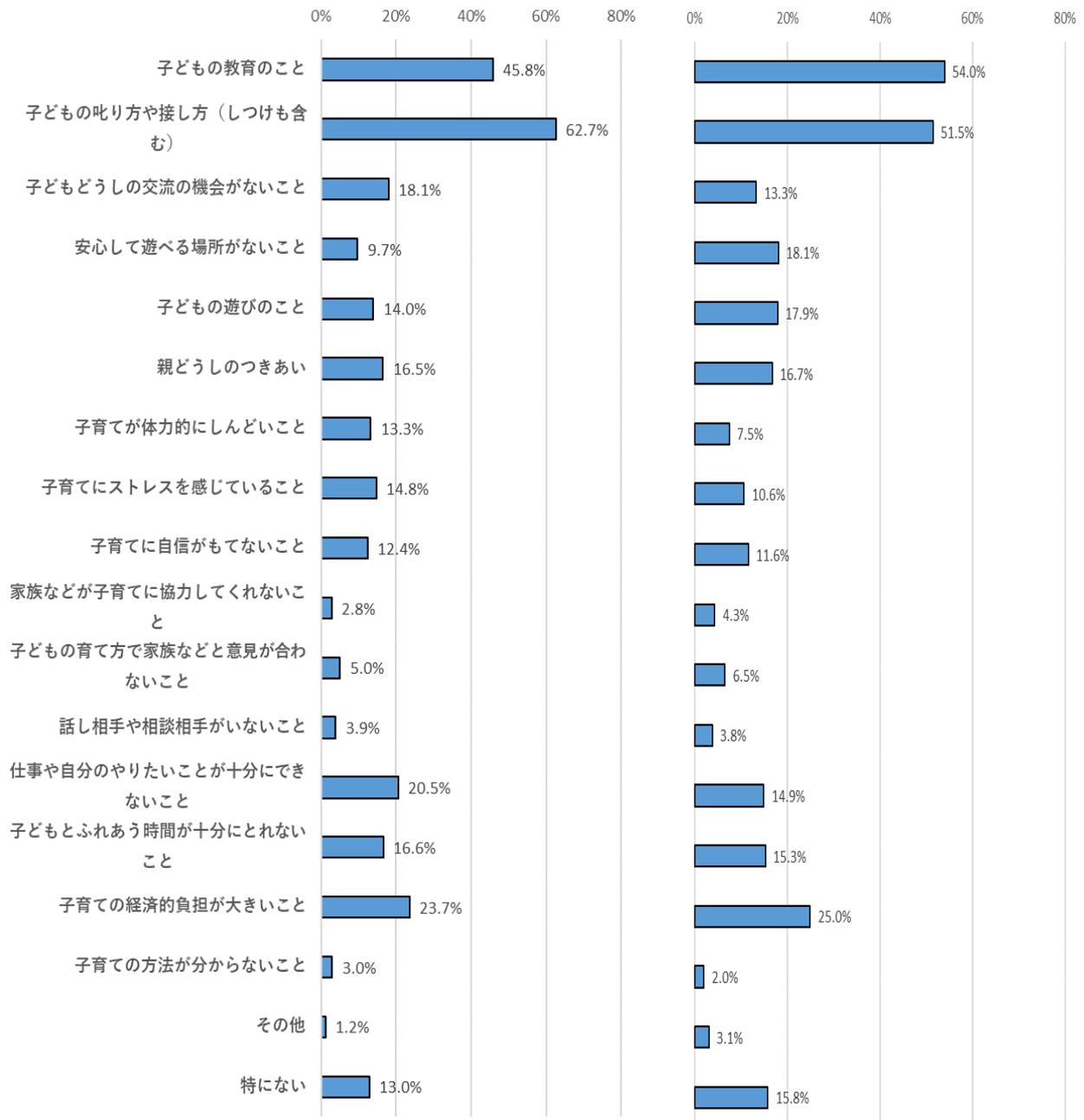
就学前児童、小学生ともに「子どもの心に関すること」、「食生活」が上位になっています。特に、就学前児童では「食生活」が41.8%と、小学生の24.9%よりも多くなっています。



- ⑱ 子育てについて、病気等以外で日常悩んでいることや不安なこと（複数回答）
 就学前児童、小学生ともに「子どもの教育のこと」、「子どもの叱り方や接し方（しつけも含む）」が上位になっています。

【就学前児童】 N=1,554

【小学生】 N=1,166

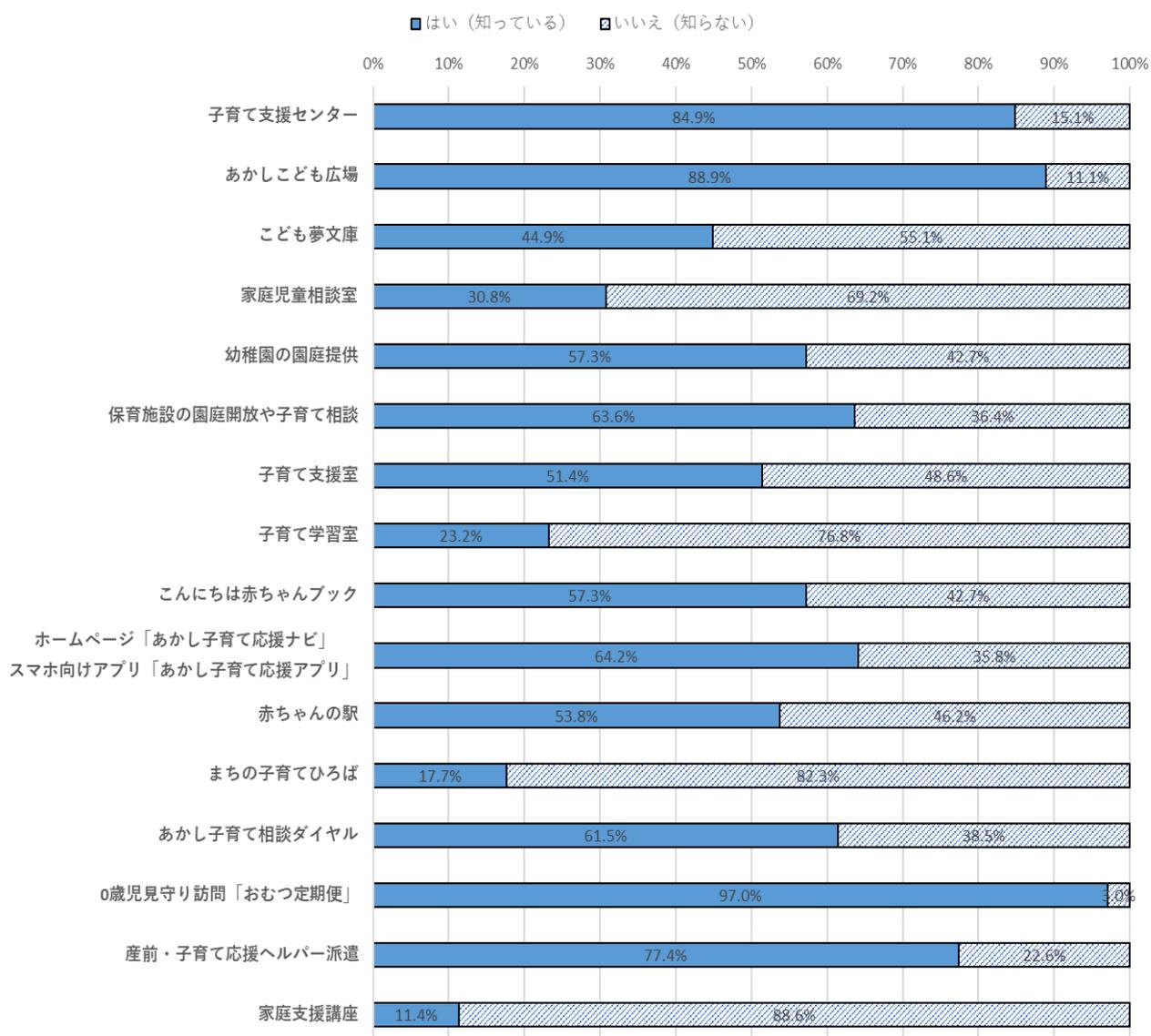


⑳ 子育て支援サービスの認知度（単数回答）

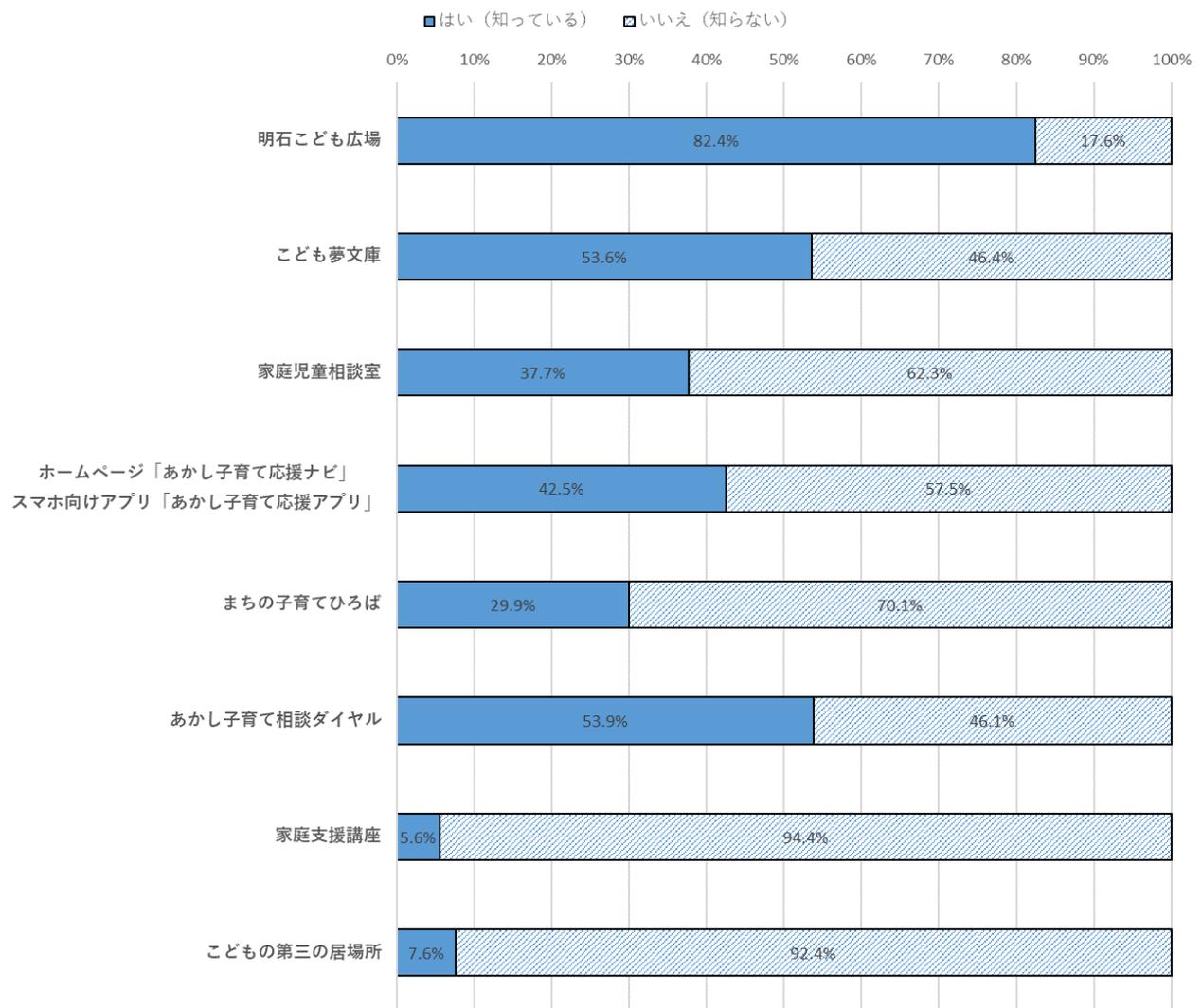
就学前児童で「子育て支援センター」「あかしこども広場」「0歳児見守り訪問」「おむつ定期便」「産前・子育て応援ヘルパー派遣」を「知っている」が高く、約80%以上となっています。

小学生では「あかしこども広場」が最も高く、82.4%となっています。

【就学前児童】 N=1,554



【小学生】 N=1,166

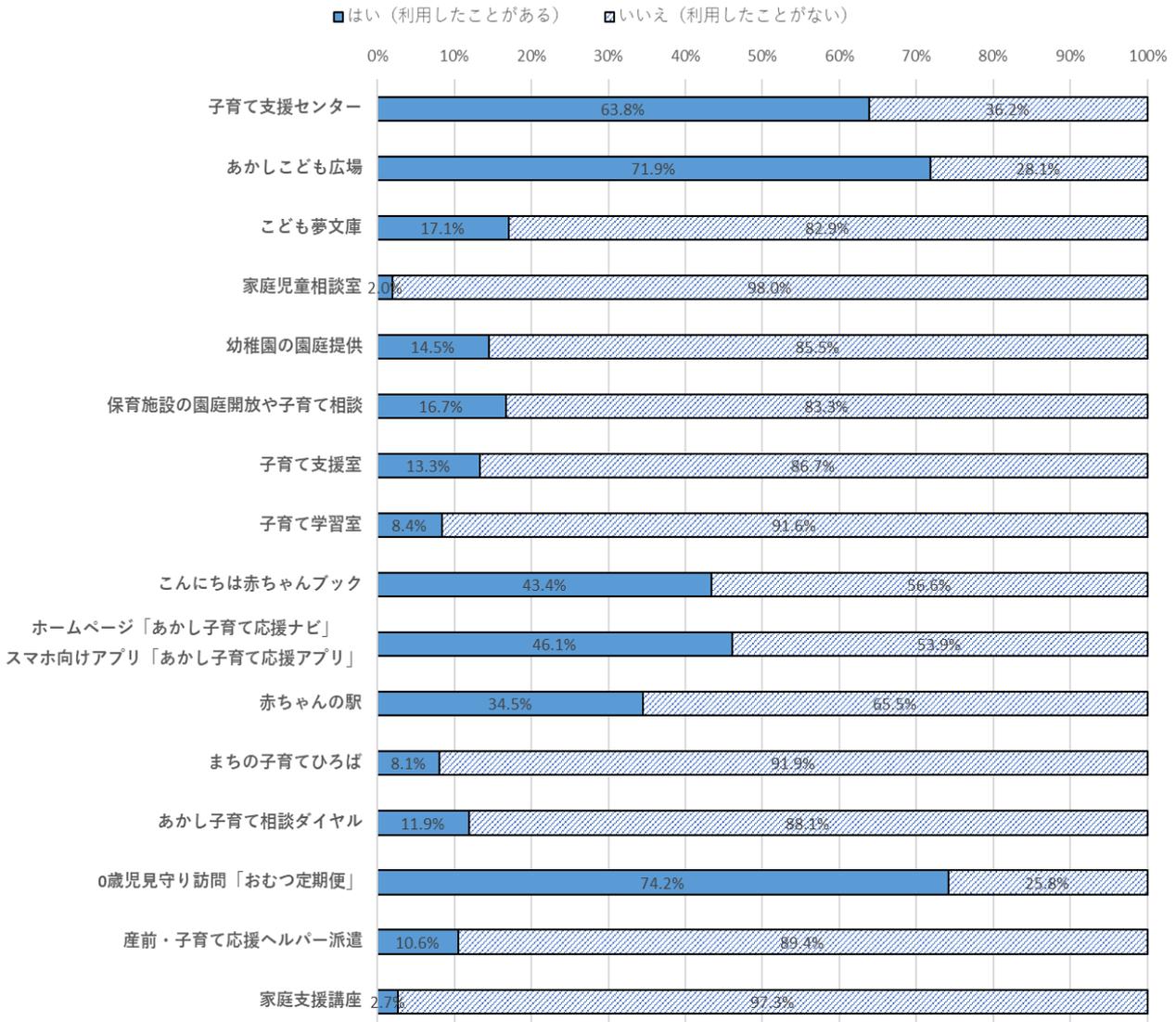


② 子育て支援サービスの利用状況（単数回答）

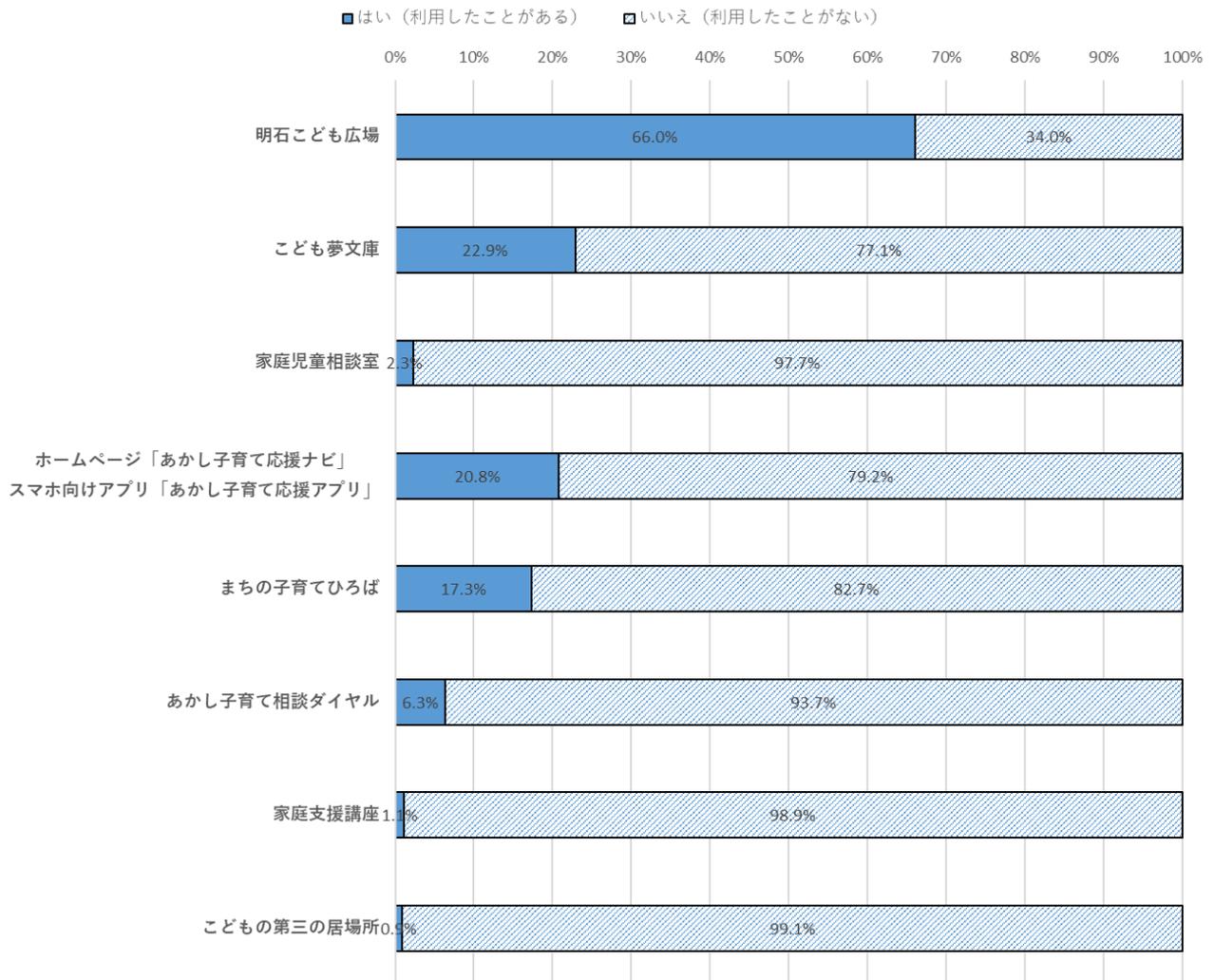
就学前児童で「子育て支援センター」「あかしこども広場」「0歳児見守り訪問」「おむつ定期便」の割合が高く、いずれも60%以上となっています。

小学生では「あかしこども広場」の割合が高く、66.0%となっています。

【就学前児童】 N=1,554



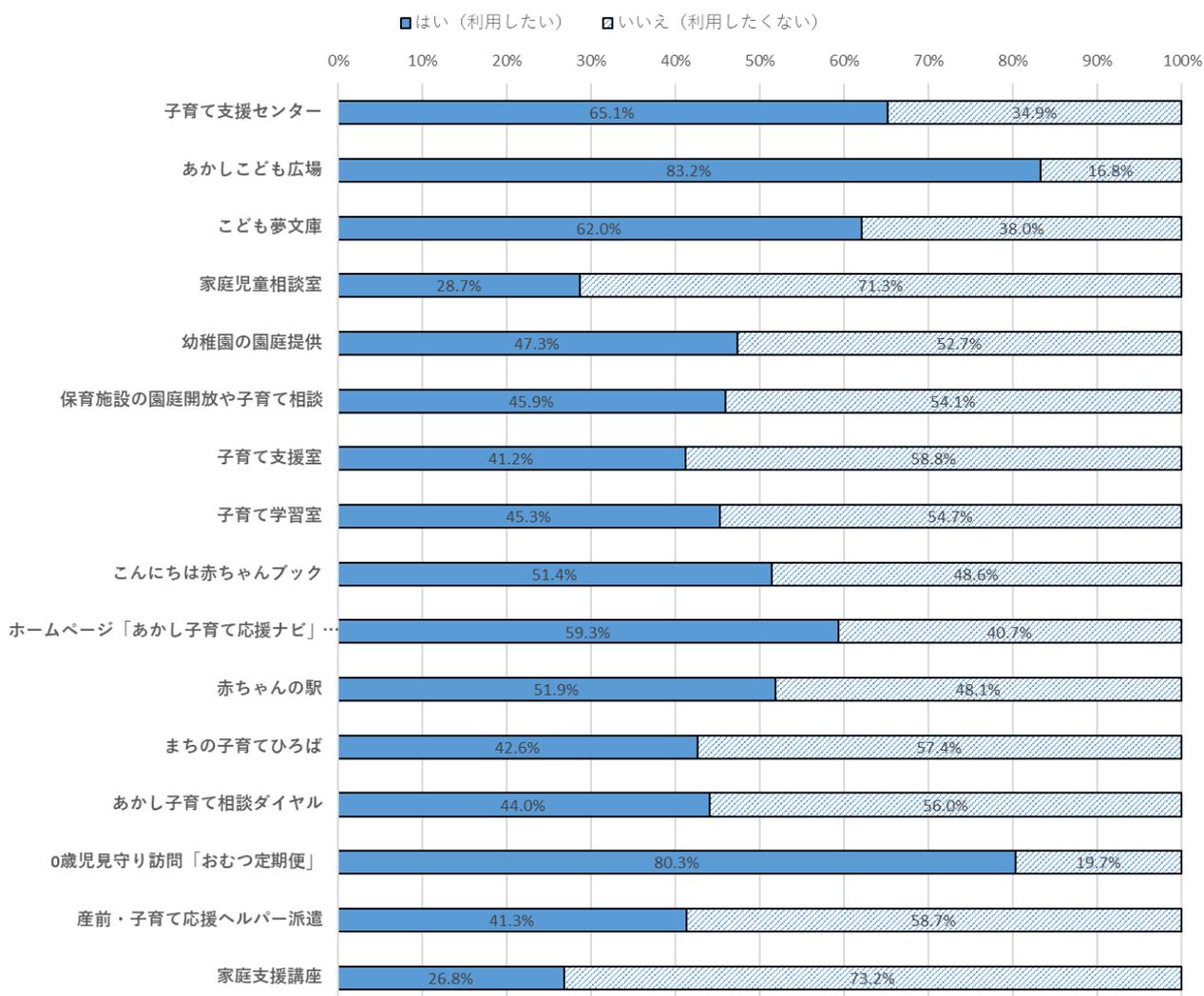
【小学生】 N=1,166



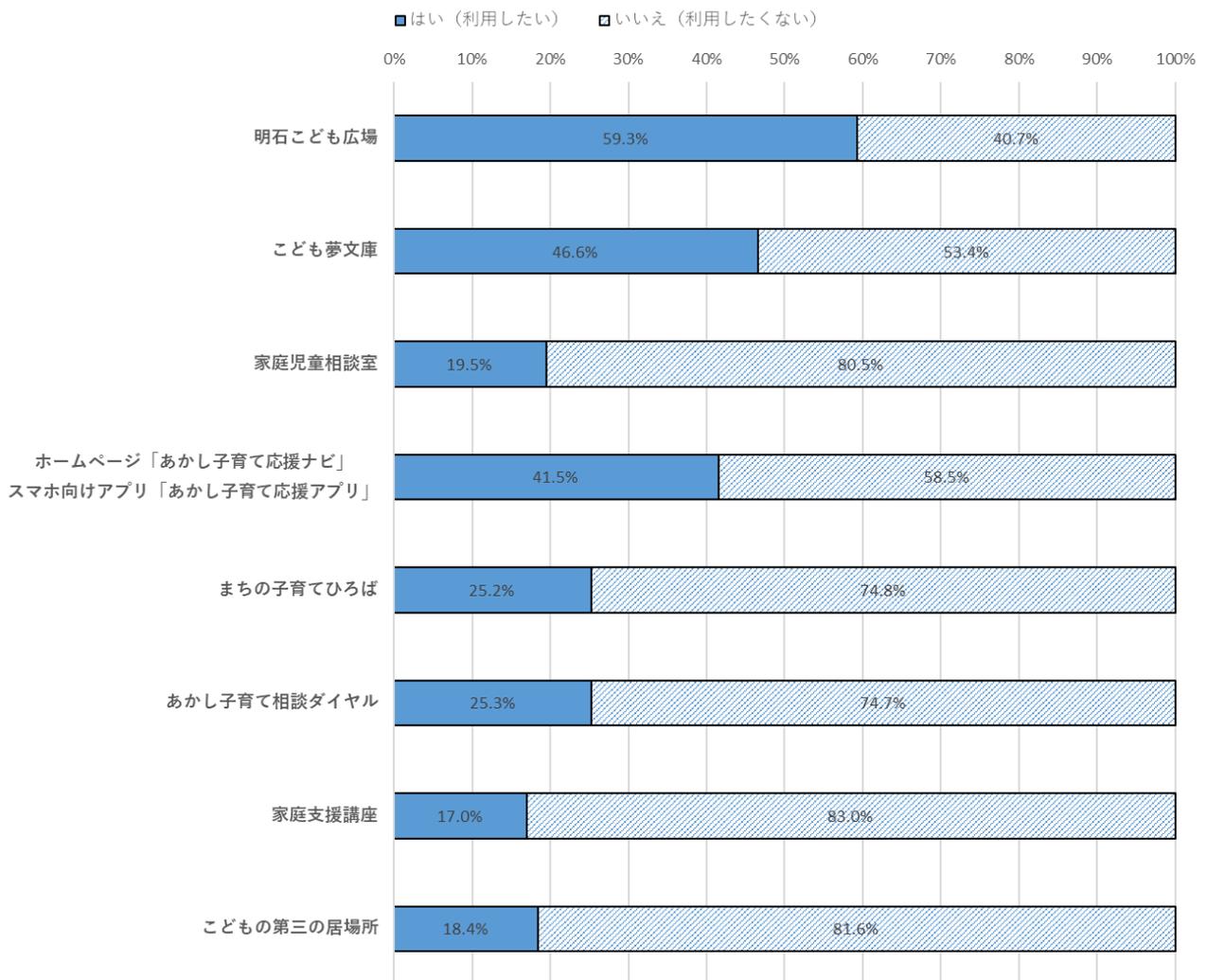
② 子育て支援サービスの利用希望（単数回答）

就学前児童、小学生で「あかしこども広場」の利用希望が最も高くなっています。
 就学前児童について、「0歳児見守り訪問「おむつ定期便」」が80.3%と非常に高いニーズがあることがうかがえます。

【就学前児童】 N=1,554



【小学生】 N=1,166



② 子育てしやすいまちか（単数回答）

「そう思う」、「まあそう思う」をあわせた「子育てしやすいまちだと思う」が、就学前児童で93.1%、小学生では88.9%と、ともに9割近い割合となっており、5年前の調査からそれぞれ5.4ポイント、3.6ポイント増加しております。

【就学前児童】 N=1,554

【小学生】 N=1,166

